

教育課程		ファーストレベル		
教育目的		看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。		
到達目標		1.ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。		
		2.組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。		
		3.看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。		
	教科目	単 元	教育内容	時間数
1	ヘルスケアシステム論 I 15時間	社会保障制度概論	・社会保障制度の体系 ・社会保障の関連法規	3
		保健医療福祉サービスの提供体制	・保健医療福祉制度の体系 地域包括ケアシステム 地域共生社会	3
		ヘルスケアサービスにおける看護の役割	・看護の社会的責務と業務基準 看護関連法規 倫理綱領 看護業務基準	6
			・看看連携 ・地域連携における看護職の役割 ・保健医療福祉関連職種理解	3
2	組織管理論 I 15時間	組織マネジメント概論	・組織マネジメントに関する基礎知識 ・看護管理の基礎知識	9
		看護実践における倫理	・看護実践における倫理的課題 ・倫理的意思決定への支援	6
3	人材管理 I 30時間	労務管理の基礎知識	・労働法規 ・就業規則 ・健康管理(メンタルヘルスを含む) ・雇用形態 ・勤務体制 ・ワークライフバランス ・ハラスメント防止	6
		看護チームのマネジメント	・チームマネジメント ・看護ケア提供方式 ・リーダーシップとメンバーシップ	6
			・リーダーシップとメンバーシップ ・コミュニケーション ・ファシリテーション	3
			・准看護師への指示と業務 ・看護補助者の活用	3
人材育成の基礎知識	・成人学習の原理 ・役割理論 ・動機づけ理論 ・人材育成の方法	12		
4	資源管理 I 15時間	経営資源と管理の基礎知識	・診療・介護報酬制度の理解 ・経営指標の理解	3
			・看護活動の経済的効果	6
		看護実践における情報管理	・医療・看護情報の種類と特徴 ・情報管理における倫理的課題 (情報リテラシー)	6
5	質管理 I 15時間	看護サービスの質管理	・サービスの基本概念 ・看護サービスの質評価と改善	6
			・看護サービスの質評価と改善	3
			・看護サービスの安全管理	3
			・看護サービスと記録	3
6	統合演習 I 15時間	演習	・所属組織の看護サービスの現状を整理する。 ・看護サービス改善のための取り組むテーマを決定する。 ・自己の立ち位置で改善策を考える。 ・自己の実践計画を発表する。	15
計				105

教育課程		セカンドレベル		
教育目的		看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。		
到達目標		1.組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。		
		2.保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。		
	教科目	単元	教育内容	時間数
1	ヘルスケアシステム論Ⅱ 15時間	社会保障制度の現状と課題	・日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化 社会保障費の(財源)構造と推移	3
		保健医療福祉サービスの現状と課題	・保健医療福祉サービスの提供内容の実際 病院、看護小規模多機能型居宅介護、訪問 看護ステーション等	6
		ヘルスケアサービスにおける多職種連携	・多職種によるチームケア提供の実際と課題	6
2	組織管理論Ⅱ 30時間	組織マネジメントの実際	・組織分析 ・組織の変革	12
			・組織の意思決定プロセスと変革	6
			・組織の意思決定	6
		看護管理における倫理	・看護管理における倫理的課題 ・看護管理における倫理的意思決定	6
3	人材管理Ⅱ 45時間	人事・労務管理	・人員配置 ・勤務計画 ・ワークライフバランスの推進	6
			・ストレスマネジメント ・タイムマネジメント	3
			・労働災害とその対策 ・労務管理に関する今日的課題 ・ハラスメント予防策と対応	6
		多職種チームのマネジメント	・人的資源の活用	6
			・リーダーシップの実際 ・コンフリクトマネジメント	6
			・看護補助者の育成	3
		人材を育てるマネジメント	・キャリア開発支援	6
			・キャリア開発支援	3
			・人材育成計画	6
		4	資源管理Ⅱ 15時間	経営資源と管理の実際
・適切な療養環境の整備	3			
看護管理における情報管理	・看護の評価・改善のための情報活用			6
5	質管理Ⅱ 30時間	看護サービスの質保証	・クオリティマネジメント 医療・看護におけるクオリティマネジメント	18
		安全管理	・安全管理の実際 ・安全管理教育	6
			・法令遵守 ・災害対策	6
6	統合演習Ⅱ 45時間	演習Ⅰ	・所属組織(部署)の現状分析、課題抽出の過程を通し、課題の背景、要因を多角的に検討する。	24
		演習Ⅱ	・所属組織の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する。	9
		実習	・地域連携を理解するための他施設実習を行う。(実習施設は、受講者自身の所属種別以外の施設とする)	12
計				180

教育課程		サードレベル		
教育目的		多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。		
到達目標		1.保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考察することができる。 2.社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。 3.経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。		
	教科目	単元	教育内容	時間数
1	ヘルスケアシステム論Ⅲ 30時間	社会保障制度・政策の動向	・社会保障の将来ビジョン ・グローバルな視点から見た保健医療福祉 WHOの活動、国連SDGS等	6
		看護制度・政策の動向	・看護制度の変遷と政策 ・看護政策に関する審議会・検討会 ・制度変化に伴う看護管理への影響と対応 ・看護戦略とパワーの活用 ・職能団体による政策への影響力	6
		ヘルスケアサービスの創造	・ヘルスケアサービスのマーケティング ・社会的企業(ソーシャルエンタープライズ) ・NGO、NPOのヘルスケアサービス ・看護事業の開発と起業 ・テクノロジーの活用	12
			・地域連携を基盤としたヘルスケアサービス ・在宅におけるヘルスケアサービス ・ヘルスケアサービスのシステム構築	6
2	組織管理論Ⅲ 30時間	組織デザインと組織運営	・組織のデザイン ・組織間ネットワークのデザイン	6
			・地域連携ネットワークのデザイン	3
			・組織間ネットワークのデザインと組織運営	3
			・ダイバーシティ ・組織運営に必要な能力	6
			・経営者に求められる役割と必要な能力 ・組織戦略とパワーの活用 ・経営者としての成長と熟練	6
		組織における倫理	・組織における倫理的課題 ・倫理的課題に対する組織的対応	6
3	人材管理Ⅲ 15時間	社会システムと労務管理	・賃金制度 ・人事考課 ・能力評価のためのシステム構築 ・労働関係法規の最新の動向 ・建設的な労使関係の構築 ・人材フローのマネジメント ・ハラスメントの組織的対応	9
		看護管理者の育成	・看護管理者の能力開発、活用	6
4	資源管理Ⅲ 30時間	経営戦略	・医療経営の特徴と課題 ・医療施設、介護福祉施設、訪問看護ステーション等の経営の特徴と課題	6
			・DPCと地域医療構想 ・医療データ分析の現状と課題	9
			・戦略策定	6
		財務管理	・財務会計 ・管理会計 ・資金管理	6
	組織的情報管理	・関連法規の遵守 ・地域における情報共有・活用	3	
5	質管理Ⅲ 30時間	経営と質管理	・ガバナンスとアカウンタビリティ ・医療・看護の質とデータ活用	9
			・第三者評価 ・経営資源の効率的・効果的運用 ・医療福祉サービスへの市場原理導入 ・適正人員配置と経済性 ・顧客満足	9
		組織の安全管理	・安全文化の醸成 ・医療事故防止のための組織的対策	6
			・危機管理	3
			・危機管理における法的対応	3
6	統合演習Ⅲ 45時間	演習Ⅰ	・学習内容を踏まえ、受講者自身が演習内容を企画し実施する。 ・組織の目的達成のために、トップマネジャーとして施設の現状を分析し、課題を明確にし改善計画の立案につなげる。	18
		演習Ⅱ	・トップマネジャーとして施設の現状を分析し、課題を明確にし改善計画を立てる。 ・保健医療福祉組織の看護の現状について、統計データを分析し、保健医療福祉サービス提供体制について政策提言する。	15
		実習	・経営の実際を学ぶための実習を受講者自身が企画し実施する。 (企画・シャドウイング等)	12
計				180